

①学校名:	昭和医科大学		②所在地:	東京都品川区旗の台1-5-8			
③課程名:	認定看護管理者教育課程 セカンドレベル		④正規課程／履修 証明プログラム:	履修証明プログラム	⑤開設年月日:	2013/7/9	
⑥責任者:	看護キャリア開発・研究センター長 増田 千鶴子		⑦定員:	45名	⑧期間:	37日間	
⑨申請する課程 の目的・概要:	医療機関や地域における看護職の管理者育成を目的にしたプログラムである。本プログラムでは、5教科目(ヘルスケアシステム論Ⅱ・組織管理論Ⅱ・人材管理論Ⅱ・質管理Ⅱ)は講義と演習を組み合わせ自らの意見や他者の意見を踏まえて考える力を習得する。統合演習は、45時間かけて、自組織の分析から問題の焦点化、改善計画を立案する。1年後には、組織改善計画の実施報告会を開催し成果を確認する。このプロセスを通して、師長として活躍するために必要な能力を習得する。						
⑩④テーマへの 該当の有無	無	⑪履修資格:	1)日本国看護師免許を有する者2)看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者。1)2)を満たし、かつ3)~5)のいずれかに該当3)認定看護管理者教育課程ファーストレベルを修了している者。4)看護部長相当の職位にある者。5)副看護部長相当の職位に1年以上就いている者。				
⑫対象とする職業の種類:	看護師・助産師・保健師で管理職を目指す者						
⑬身に付けることのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) 看護管理者に必要とされる知識、技能		(得られる能力) ・組織問題解決能力・人間関係調整能力				
⑭教育課程:	ヘルスケアシステム論では、我が国の人団・疾病構造や社会保障の変化、保健医療福祉サービスの提供に関する知識を習得し多職種によるチームケア提供の実際と課題について問題解決能力を習得させる。組織管理論では、組織分析や組織変革・組織の意思決定に関する知識を習得し、看護管理における倫理的課題や倫理的意思決定における問題解決能力を習得させる。人材管理論では、キャリア開発支援、労働関係法規や労働災害と対策、ハラスメント予防策やストレスマネジメントに関する知識を習得しリーダーシップの実際やコンフリクトマネジメントなどにおける問題解決能力を習得させる。質管理では、医業収支や経営指標に関する知識を習得し、看護の評価や改善のための情報活用や組織分析から改善計画までの立案により組織管理能力を習得させる。						
⑮修了要件(修了授業時数等):	1) 必須教科目の出席時間数が既定の4/5以上(153時間以上) 2) レポート評価がC以上 3) 実践計画書の評価結果がB以上						
⑯修了時に付与される学位・資格等:	認定看護管理者教育課程サードレベル受講資格、セカンドレベル修了認定						
⑰総授業時数:	198 時間	⑱要件該当授業時数:	189	該当要件:	双向	⑲要件該当授業時数／総授業時数:	95%
⑳成績評価の方法:	レポート課題の評価、実践計画書の評価、実践計画発表の評価						
㉑自己点検・評価の方法:	学校教育法第109条第1項に定める評価を実施する。学内自己点検・評価委員会が、本プログラムの成果や評価を行い、結果を理事会で検討して自己点検・評価報告書としてまとめ、ホームページで公表する。						
㉒修了者の状況に 係る効果検証の方 法:	1年後に実践を発表し評価を指標とする。サードレベルの応募状況を検証する。						
㉓企業等の意見 を取り入れる仕 組み:	(教育課程の編成) 看護キャリア開発・研究センター教育委員会に、外部委員を3名を受け入れ外部からの意見を取り入れる。 (自己点検・評価) 学内自己点検・評価委員会の内部監査が定役的に実施され改善事項が提示される。日本看護協会認定看護管理者教育機関の認定更新審査を受けることにより、自己点検・評価を行い、企画などに意見を反映させる。						
㉔社会人が受講しやすい工夫:	週末開講、夏休み期間の集中開講						
㉕ホームページ:	(URL) https://www.showa-u.ac.jp/education/ns_career/						

事務担当者名:	矢島和美	所属部署:	看護キャリア開発・研究センター
連絡先:	(電話番号) (E-mail)	03-5749-8903 kango-carrier@cmed.showa-u.ac.jp	

*パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。

*様式に記載いただいた内容と欄外の「※集計用データ(文部科学省使用)」に記載の内容が、一致しているかを必ずご確認ください。